

外房法友会

法政大学校友会
外房法友会 会報
第 12 号

発行所 法政大学校友会 外房法友会
発行人 目良俊徳
〒298-0005 いすみ市新田788
TEL 0470-62-9429

「外房法友会」総会報告

照川 三郎

平成26年度外房法友会総会を、7月5日(土)午後4時より茂原市にあるプラザ平安にて開催しました。総会当日には、来賓として校友連合会組織部副部長長鷲津一雄様、千葉県議会議員阿井伸也様、校友会理事千葉中央支部長伊藤貞雄様、成田法友会副会長河島教明様にご臨席をいただき、盛大に開催することが出来ました。



平成26年度 外房法友会総会 H26.7.5

参加者による記念撮影

アリオンコールの合唱



総会終了後の懇親会では、アトラクションとして法政大学アリオンコール(創部85年の伝統をもつ男性合唱団)のメンバーによる素晴らしい歌声を聞かせていただき、参加者はその歌声にしばし歓談を忘れ聞き入っていました。(その後アリオンコールのメンバーと記念撮影)

を過ごす事が出来て嬉しかったとの声も多数聞かれました。懇親会の最後には、出席者全員が肩を組みそれぞれ学生時代に思いをはせながら、法政大学校歌の大合唱により閉会となりました。外房法友会には、現在約470名ほどの会員がいます。一人でも多くの会員が、総会や事業の開催に参加していただけるよう、知人・友人に声をかけていただき外房法友会の輪を広げていきたいと考えていますので、今後とも皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

(昭和48年 文学部卒)

平成27年度総会案内

平成27年度の「外房法友会総会」は

7月4日(土)

に開催します。詳細は同封の総会案内をご覧ください。懇親会でのアトラクションは、法政大学ジャズ研究会の皆さんによる演奏を予定しています。

戦後七〇年を迎えて思うこと

いすみ市長 太田洋

今年には先の大戦終結後70年を迎えます。戦争はずっと遠い過去になつたように思いますが、世界を見ると未だに戦争が止まない日々であり、いつか戦争のない平和な世界が実現することを願っています。

振り返ると、私自身、戦後50年の節目を県庁時代厚生課で援護を担当したことが今でも思い出として残っています。一番大きな仕事は厚生省によって残留邦人を無事に日本へ帰還させた後、千葉県出身者の身の回りの世話をすることでした。その時、日本人でありながら、戦火の中で子供を中国人に託したことや、中国人の養父母が子どもを大切に育ててくれたことなどを知り、人間の優しさや思いやりは人類共通であると感じたものでした。

害が出て、終戦後、周辺の各国はドイツ(当時)とは和解できないと考えていました。特にフランスは、ドイツを許すことのできない存在であったと言われていました。ドイツ敗戦40年を迎えた時、ドイツのワイツゼッカー大統領は世界に向けて演説を行いました。先の戦争に対する謝罪と、過去を反省することなく、互いの信頼は築けないという内容で、率直に相手の心に響く言葉で優しく語りかけました。この言葉は大きな反響を呼び、これでヨーロッパの人々の心は、大きく変わりました。その後戦死したフランス兵の墓地を訪れた時、当時のフランスの大統領は自らその墓まで案内し、共に花を捧げた後、墓前で平和を誓う握手をしました。このことは世界に報道され、これでヨーロッパは戦後が終わり、真の平和が訪れたと報じました。

私は、人は過ちを犯す動物であると思います。しかし、人はやっではないけないことをやめられる知識と能力を持っています。過去に敵であったドイツとフランスは、ドイツの大統領のスピーチで心が動き、歴史的な和解をとげたことを考えれば、日

本もできないことはないと考えます。日本は今年戦後70年という大きな節目を迎えます。安部首相にはドイツの首相のように純な心で世界に語りかけ、特にアジア諸国との友好発展の大きな歩みの一步の年にして欲しいと願う日々です。

(昭和47年経済学部卒)

H26キャンパスツアー 石井 孝

平成26年度の外房法友会の研修は、江戸東京博物館に立ち寄り、「自主法政祭」のネーミングにより開催された大学祭を訪れました。

借り上げバスは、夷隅のバス事務所を出発していすみ市役所を経由して、茂原市役所を待ち合わせ場所とし、道中、乗車し易く配慮して毎年行われています。バスの中の雰囲気は、サロン席でのアルコールパーティーさながら、学生時代の思い出や情報交換の話題や、賑やかで和やかに時間が過ぎて行きます。

江戸東京博物館では、武家屋敷の当時の武士の生活が分かり易く表現された人形と縮小された建物で表されていて、江戸の華やかさと庶民の暮らしが伺えるものでした。江戸中期の1720年に八代將軍吉宗の政策である禁書政策の緩和指令による「ヨーロッパの自然科学書の輸入許可」(キリスト教には関係のないもの)により、自然科学的な思想や学問が取り入れられた転換期に、これまで鎖国政策により日本が立ち遅れていた科学的な学問が宗教道徳ではなく「天下の法を立つべからず」という茂原市本納村(徂徠の母の故郷)



外濠校舎玄関の垂れ幕

俳人前田普羅

渡辺 光夫

俳人前田普羅の句碑、
向日葵の月に遊ぶや漁師たら
は白子町古所の、アクア健康センタ
ーの横にある。また、彼の墓碑は同
町関の玄徳寺にある。父は白子町出
身、妻も同じである。少年時代や晩
年にはしきりに関村（現白子町）を
訪れている。当地方に馴染み深い俳
人でありながら、彼の偉大さが余り
知られていない。そこで、普羅理解
に少しでも役立てばよいと思い調べ
てみた。

彼の略歴。明治二十一年（一八八
九）四月東京に生まれ、本名忠吉。
早大英文科中退。大正五年報知新聞
入社。のち同社富山支局長となり退
社後も終戦まで同地に居住。虚子に
ついて俳句を学び、大正初期の「ホ
トトギス」で石鼎と併称された。昭
和四年「辛夷」を創刊主宰。二十九
年八月没。「普羅句集」「雪国」「
新普羅句集」「春寒浅間山」「飛弾
袖」「能登蒼し」などがある。
句碑「向日葵の月に遊ぶや漁師た
ら」は昭和四十一年十一月「前田普
羅句碑建設委員会」によって建立さ
れた。昭和五十三年に、町の指定文
化財になっている。この句は「普羅
句集」所収で、俳誌「ホトトギス」
大正元年十月号に初入選四句のうち

の一句である。彼の父母の出生地九
十九里浜の回想作で、若々しい漁師
達の夜遊びの様子が描写されている
。今は近海の漁場が一変してしま
い、漁業は衰退してしまつたが、か
つて栄えた漁師達への郷愁と、歴史
的な役割を果たしている句碑とも言
える。群生した向日葵の上にかつた
夏の月。向日葵と月と漁師達の関
わりの深さが根底にある。ひまわり
の明るさ、解放さ、月は若者の風貌
を連想させる。平明簡潔がよくで
ている俳句である。

彼の墓は同町関の玄徳寺にある。
墓塔の側面には交流のあった飯田蛇
笏書の普羅の略歴が刻まれている。
普羅は約五千句の俳句を残してい
る。父祖の地、上総地方を詠んだも
のは二百四十句くらいある。

関村の玄徳寺等は
冬耕の牛つながらるる玄徳寺
箴に入りて千々にぬけ行く冬の水
冬の水潺々として沼と出づ
等がある。南白亀川は彼にとつて格
好の句材であった。
粗朶さしのおとがひぬらす南白亀川
月照らす兩岸凍る南白亀川
がある。（拙著「長生郡市の俳句」
に詳しく載っている）
（昭和32年 経済学部卒）

に由縁のある荻生徂徠（江戸中期の思想家・儒学者・文献家）の法
令遵守の理念にも繋がっているものと思います。

江戸東京博物館の観覧を終えて、市ヶ谷の法政大学キャンパスに
向かいました。校舎の新築が進む中、大勢の学生の活気を感じなが
ら正面玄関から中に入りました。そこで、ふと目に入った、法政の
キャンパスカラーのブルーの台紙のオレンジの貼り紙に「自主法政
」と大きな文字で書かれた看板が気づきました。パンフレットを購
入すると、ガラंकじの景品が貰えるというので購入して景品を頂
きました。丁度昼食の時間だったので、お好み焼きと焼きそばを学
生さんから買って、卒業写真を撮影した思い出の中庭で食べました
。中庭でも賑やかな出店が立ち並び賑やいでいました。近頃、アル
コールの事故の問題で、お酒が販売されていないのが淋しいよう
に思いました。

「自主法政」の言葉に、学問の価値を感じ、田中総長の言葉どお
り「自分のことは自分で決定できる社会人に」成長して欲しいとい
う強い思いを感じながら、帰途のバスに乗りました。

（昭和57年 法学部卒）



白子町に在る前田普羅の句碑



参加者全員で記念撮影

バイト(アルバイト)

目良 俊徳

私の子供時代は、多くの子供が家事労働の重要な担い手で働くこと(手伝い)は当たり前であり、「働かざる者食うべからず」の時代であった。しかし、高校時代、バイトは原則として禁止されていた。生徒指導上よくないということである。そんな中でも家計を支えるため新聞配達で母親を助け苦学している優秀な友人がいたことを思いだす。家計を支える場合のバイトは許可されていたのだろう。インターシップが推奨される今の時代から考えると隔世の感がある。

さて、今時の大学生はどのようなバイト生活をしているのだろうか。私の場合、入学した頃は向学心に燃えていたせいもあるが(？笑)バイトをやるうという気持ちが無かったように思う。転機は1年生の8月、市川の寮に入寮し友人の多くがバイトで生活費(小遣い)を稼いでいるとの話を聞くようになってから、小遣いもぎりぎりだった私も「自分もバイトやってみるか」と、思うようになったことを記憶している。寮生のバイトは様々であった。家庭教師、飲食店・製造工場・デパート・銭湯及び夜間高速道路での通行

車両台数のカウント等であった。私が一番魅力を感じたものは、旅行会社の添乗員補助のバイトであった。この魅力は、バイトしながら旅行できることである。当時、県外に旅行することは、自分の小遣いではとても無理とあきらめていたが、運よくそのバイトをやっていたのが法政大学の先輩であった。是非やりたいと先輩にお願いしたところ、なんとか実現できた。

確か、大学が学園紛争でロックアウトになった2年生の時が初めてだったと思う。成田農協の団体旅行で東北地方ツアーにいった。成田の旅館に前泊して臨んだと思う。電車とバスを利用するツアーであった。只、予想したよりきつく、弁当運びや事前交渉等時間に追われ、とても旅を堪能している余裕がなかった。それでも十和田湖の美しさだけは記憶に残っている。このバイトは、寮生に人気が高くその後1回位しかできなかった。

もう一つ印象に残っているバイトは、当時勝浦市にあった「行川アイランド」でのバイトである。このバイトは、同好会の合宿費用を稼ぐために1年生の夏休み3週間行った。

地元の大原駅から勝浦市の興津駅まで電車、興津駅からバスで行川アイランドまで通ったものである。バイトの自身は、プールでの監督・清掃等であった。当時、行川アイランドはフラミンゴショーなどで人気を博しても盛況であった。プールも夏休みということもあってか、連日親子連れで満員であった。いろいろなお客がいて対応に苦労したことや昼食の時、社員食堂で家庭にはないメニューを安く食べられ満足したことが思い出される。バイト料は、1日800円くらいだったと思う。何とか予定通りバイト料を手にし、ルンルン気分都合宿先(長野県)の民宿に向かったことが思い出される。

(昭和46年 法学部卒)

損害保険 ジャパン代理店
損保ジャパンひまわり生命保険代理店

中村保険サービス

中村良逸 (昭和44年経卒)

茂原市高師392
TEL 0475-22-2853



不二サッシ株式会社

営業本部特需部 参事 鈴木 勝善
(昭和42年法卒)

東京都品川区西五反田4丁目32番1号
TEL 03-5745-1237 FAX 03-5745-1296

すごいぞ「鈴木夕張市長」と「運」

佐久間 武

鈴木職員は、東京都庁に勤めながら、母校・法政大学法学部（夜間）に入学し、四年間、ボクシング部で活躍し、主将にまでなり卒業しました。その後、都庁から、北海道の財政破綻した夕張市を支援するための職員として派遣され、派遣期間が終わり都庁に戻りました。しかし、まさかの、市民からの夕張市長への立候補要請が届き、受諾して立候補し、全国最年少市長として当選しました。「すごいぞ！」の一言です。

ボクシング部は「過酷」ですね。普通、昼間勤めて、夜授業に出るだけでも大変です。それが、毎日練習し、土、日も練習とは。帰りの電車で意識を失って倒れたり、電車の床に寝ていたこともあったとか。この体験が、夕張市長になった時、大いに生きてきたと。

いろいろ悩んだ末に、立候補を決意し、石原都知事に報告に行ったら、「この勘違い野郎」と言われ、続けて、「何事も勘違いから生まれる。後先考えずに、がむしゃらにやるうちに、“勘違い”いと言われた夢が現実に

なる。だから、裸ひとつで挑戦する若者を、おれは殺しはしない」と言われました。石原都知事は、選挙の応援に夕張市に駆けつけてくれました。

以上は、講談社から昨年出版された、「夕張再生市長」鈴木直道著の内容の一部です。詳細は、ぜひ、応援を兼ねて購読していただければ幸いです。

ところで、「運」は、「タナボタの運」と「掴み取る運」の二種類があります。

彼の有名な皇帝ナポレオンは、一、ナポレオンは、親が偉くないので、軍人として出世ができない立場でした。しかし、フランス革命で、公爵、侯爵、伯爵等が亡命し、偉い人たちが居なくなつたので、能力があつたことは確かですが、二十六歳で陸軍中將とはすごいですね。

二、ルイ16世は、フランス革命を起こした人達によりギロチンで首を切られ、フランスの王位は「空位」になりました。ルイ16世が生きていたら皇帝にはなれなかつ

たでしょう。

三、フランス革命が失敗して、フランス国内が混乱状態になり、ナポレオンに混乱の收拾を期待する声が上がりました。

四、そこで、ナポレオンは、クーデターを起こし、政権を奪取した後、紆余曲折はありましたが、ついに皇帝の位に上り詰めました。一、二、三は、「タナボタの運」で、四が「掴み取る運」です。

鈴木市長は、

一、職員として、財政破綻した夕張市に派遣されて、過酷な状態で、他では学べない数々の経験を積む機会を得ました。一年の派遣期間が終わった時、同時に派遣された他の職員は都庁に戻りました。しかし、鈴木職員は、延長を申し出て、二年二か月滞在しました。

二、都庁に復帰したのち、夕張市民から、まさかの市長への立候補要請。受託して立候補して当選しました。

一が「タナボタの運」で、二が「掴み取った運」です。

では、どうしたら、「運」を「掴

み取る」ことができるのでしょうか。答えは、その「運」に相応しい人物に自分自身が「成長」していることです。ナポレオンは、皇帝が務まる人物に生長していたし、鈴木市長は、三十一歳の若さで市長が務まる人物に生長していたのです。

それにしても、鈴木職員を夕張市に派遣した都庁の人事担当者の眼力には脱帽です！

(昭和39年 法学部卒)

地域ぐるみの防災教育をめざして

長生村立一松小学校長 鈴木輝夫

本校は、海拔3.5m、海岸から2.2kmの距離に位置している。学区は過去に大きな津波被害を経験している地域である。平成26年度に「実践的防災教育総合支援事業」においてモデル校の指定を受けた。防災教育を推進する中で「津波からの避難」について地域と連携した様々な取組を行ってきた。

一 防災地域懇談会

地域住民や保護者、教職員を対象に本校体育館で開催した。自衛官として阪神淡路大震災や東日本大震災等への災害派遣を経験された方から、地震・津波避難についての具体的な話やデータに基づいた本地区の津波リスクの説明を受けた。その後、講師を交えての懇談を行った。各自治会における自主防災組織や地域に建設中の避難施設、高齢者の避難、児童を守るための方策等、活発な意見交換が行われた。学校と地域住民・保護者がともに、一松地区での地震・津波被害について考える機会が持てた。想定されている被害の大きさにについて知り、災害に備え、共に考え助け合っていくこうとする意識を持つことができた。

二 地域合同避難訓練

児童が、今まで訓練してきたことを生かして長生村合同避難訓練に参加した。Jアラート放送を聞き、地域住民とともに非常用外階段を使って、津波避難場所である本校屋上に避難し、ライフジャケットを着用した。防護服を着た福島県浪江町出身の本校教諭の体験談を、全校児童が真剣に聞き入っていた。大津波警報解除の後、引き渡し訓練を行い、児童は保護者とともに体育館の避難所を体験し、地区ごとに応急給食を試食した。

三 防災集会

「みんなに伝えよう」をテーマに、地域合同避難訓練の後、地域住民や保護者に向け開催した。運営委員会からの防災に関するメッセージに続き、各学年での防災学習を発表した。

- 一年 「防災ダック」
- 二年 「避難のきまり」
- 三年 「下校時の避難の仕方」
- 四年 「いなむらの火の群読」
- 五年 「心配蘇生法」
- 六年 「防災クイズ」

これらの活動について、お知らせの文書やパンフレットを作成して各自治会で回覧していただいたり、校長や教頭が自治会長会議に出席して直接依頼したり、学校が防災に関する情報を発信し、地域と繋がりが持てたことは有意義であった。

防災教育で「的確に判断し、主体的に行動できる児童」の育成をめざして様々な取組を行ってきた。自分の命を守るとともに、地域の一員として行動できる児童を育成するために、これからも防災教育を推進していきたい。

(昭和55年 工学部卒)

齊藤法律事務所

弁護士 齊藤 友嘉
(昭和52年法卒)

東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル401号室
電話 03-3543-1341
FAX 03-3543-1343

メガソーラーコンサルタント

A I K A 愛花創業株式会社

代表取締役 花澤 良三
(昭和46年経卒)

市原市海士有木661番地3
TEL&FAX 0436-36-1160

オール法政新年を祝う会に参加して

今井 智子

オール法政新年を祝う会が平成二十七年一月二十四日(土)午後一時から午後四時三十分まで、ホテルグランパシフィック LE DAI B A「パレロワイヤル」において盛大に行われました。我が外房法友会からは、古山弘さん、成嶋まさるさん、成嶋敬子さんと私の四名が参加しました。全国から九二〇名の皆さんが一堂に会した催しでした。さすが「法政大学」、文部科学省から「スーパードグローバル大学」に採択される力のある大学だと思いました。

まず、今年の特別企画、法政大学交響楽団によるニューイヤークンサートです。シュトラウスⅡ世作曲「こうもり序曲」、岡野貞一作曲「ふるさと」、アンダーソン作曲「シンコペイテッド・クロック」と「タイプライター」、ドヴォルザーク作曲「交響曲第九番『新世界より』第四楽章」、アンコール曲として、シュトラウスⅠ世作曲「ラデツキー行進曲」を演奏しました。会場の皆さんが、大きな拍手や手拍子をし、大いに楽しんでる様子でした。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤークンサートを髣髴とさせる素晴らしいコンサートでした。

次は、オール法政新年を祝う会の時間です。開会、会旗入場、校友会副会長の開会宣言や校友会会長の挨拶があり、いよいよ田中優子総長の祝辞です。後藤健二さんの安否を気遣い、救出に向けて、政府に積極的に働きかけるといってお話しはともや印象に残っています。後援会会長の祝辞の後、注目の菅義偉内閣官房長官の祝辞でしたが、ご本人が欠席のため、お会いすることができず、残念でした。祝電披露、埼玉県知事の発声で乾杯し、祝宴になりました。

美味しい料理に舌鼓を打ちながら、歓談しました。その間に、平成二十七年全国卒業生愛知大会の案内、お年玉プレゼント抽選発表や応援団パフォーマンスがありました。東京六大学野球応援お馴染みの曲にぴたっと合った、きびきびとした動きに感心しました。平成二十四年十月二十一日(日)に神宮球場で法政大学が優勝を決めた時、外房法友会の皆さんとオレンジの紙テープを投げて喜びを分かち合ったことを思い出しました。校友会副会長の閉会挨拶、校歌を斉唱して閉会しました。この後総長と写真を撮りました。総長は文学部日本文学科の大先輩です。と

でも嬉しいことでした。総長のコラム「田中優子の江戸から見ると」が、今年の四月から、毎週水曜日に毎日新聞夕刊に掲載されます。皆さん、ぜひ読んでみてください。

(平成元年 文学部卒)



田中総長との記念写真

測量設計全般・土地建物登記

株式会社三陽測量設計

古山弘 (昭和49年工卒)

長生郡陸沢町小滝 475-1
TEL 0475-44-1869

麻生司法書士事務所

司法書士 麻生 武
(平成3年法卒)

茂原市 鷺巣295番地8
電話 0475-26-5710
FAX 050-3737-5806

法政大学全国卒業生の集い 福井大会

平川 忠勝

幸福度全国第一位に輝いた福井県で、『第22回法政大学全国卒業生の集い福井大会』が、平成二十六年十一月二十一日から二十三日まで開催されました。

二十二日に、ホテルから公開講演会場の「福井フェニックス・プラザ」まで歩いていけると声をかけられ、訳を話すと、「福井へようこそ。楽しんでください」と言われました。

会場に到着すると満員でした。田中総長の「いま江戸から学ぶこと」と題して講演があり、鯖江市は眼鏡のフレームで有名ですが、江戸時代は富士山に行こうとしてもなかなか行く事出来ず、眼鏡をかければ富士山が見えるようになるのではないかとといったような研究心が、現在のテレビの発明に至ったとわかりやすく話していました。

次に福井県立恐竜博物館総括研究員後藤道治さんが、「恐竜と福井」と題して講演してくださいました。

懇親会場の「ホテルフジタ福井」迄バスで移動しました。会場内では、一年振りに再会し話し込む人で混雑していました。受付を済ませて三階に上がると、「天山の間」ではウエルカムコンサートとして、福井を

中心に活躍している『楽衆玄達』の詩と音楽の演奏が始まりました。

校歌斉唱で開会され、桑野秀光一般社団法人法政大学校友会会長の挨拶に続き、田中優子法政大学総長、西川一誠福井県知事、東村新一福井市長、池田隆法政大学後援会会長と挨拶があり、次に福井大会実行委員会吉田敏貢会長から歓迎の挨拶がありました。木村太一さんと鈴木綾菜さんの二名で大会宣言を発表し、司会は鈴木崇広さんと向島香由紀さんの二人により進行しました。

懇親会では越前がにが出されて、皆さん言葉も出なくて無言で食っていました。友達と会うために席を移動して、あちこちで交友を確かめていました。

次回の開催地は愛知県と発表され、福井県から愛知県へと大会旗が引継がれた後、愛知県校友会長の杉本仁至さんの挨拶がありました。

法政大学応援団・チアリーディングの演技があり、最後は参加者全員で校歌を斉唱し、来年愛知県で、再来年は京都府で再会しようとの合言葉で三々五々帰路について行きました。

前日の二十一日は芦原ゴルフクラ

ブでゴルフ大会、次の二十三日は三箇所に分かれてのエクスカージョンと楽しく過ごしていました。

今年、愛知大会に参加して楽しみました。

(平成5年 経済学部卒)

愛知大会ポスター



法政大学全国卒業生の集い 愛知大会

- 日程 11/6(金) ゴルフ大会
 11/7(土) 式典・懇親会
 11/8(日) エクスカージョン

詳細は 法政大学校友会名古屋支部 ホームページをご覧ください